

博士論文内容の要旨及び博士論文審査結果の要旨

氏名(生年月日)	阿南 誠	(****年**月**日)
本籍	*****	
学位(専攻分野)	博士(医療情報学)	
学位授与番号	乙第30号	
学位授与日付	平成30年9月20日	
学位授与の要件	学位規程第3条第4項該当	
論文題目	我が国の診断群分類導入にかかる ICD コーディング精度とその課題	
審査委員	教授 片岡 浩巳	教授 秋山 祐治
	教授 佐藤 修平	

博士論文内容の要旨

本論文は、我が国の診断群分類導入の黎明期から約20年に渡り業務に携わってきた執筆者により、導入期における問題やその解決に向けた取り組み、更には未だ残っている課題等についてまとめられたものである。適切なデータ提出には、正確な診療の記録とその管理が求められるが、ICDの知識とコーディングスキルの重要性を執筆者は繰り返し述べている。診療報酬制度のもとDPCが特定機能病院等で開始されて以降のDPCとICDについては、その役割の違いを元に論じているが、その上で、両者に共通する問題として「コーディング精度」を取り上げている。調査データをもとに、「.9」問題や「.8」問題と言われる詳細不明や部位不明とされるコーディングに対して、スキル不足によるものと指摘した上で、適切なコーディングテキストの開発に繋がる流れをまとめている。診断群分類導入の歴史的な背景を踏まえて、診療情報管理におけるコーディング精度と課題を詳細にまとめた論文である。

博士論文審査結果の要旨

本論文は、診療情報の管理及びその人材養成に長年携わってきた執筆者の経験に基づき、診療情報活用の前提となるデータの信頼性を高めるために、「コーディング精度」の観点から問題点を抽出し、その解決に向けた取り組みをまとめたものである。多くの研究成果については、科研費の成果報告書等にまとめられており、論文内に取り込まれているが、研究の集大成の一つであるコーディングテキスト作成に至る経緯と、その過程が診療情報の質向上に与えた影響についてページを割いて論じている。審査会ではテキストの活用が情報精度の向上にどの程度寄与しているのかについては、今後も検討を進めていただきたいとの意見もあった。

執筆者がまとめたものは、診療情報の電子化や個人情報保護法施行など歴史的な背景を踏まえて、医療法や診療報酬の改定などの制度設計も関連する、医療情報分野の大きな研究成果と考えられる。

審査委員からの質問に適切に回答できており、本論文は医療情報学の学位授与に値するものと判断した。